

様式第4号（第5条関係）

政務活動費収支報告書

令和7年4月11日

盛岡市議会議長
遠藤政幸様

議員氏名 山崎 智樹

盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により
令和6年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収入	政務活動費 ①	600,000 円	
支出	調査研究費	471,722 円	会派行政視察（京都市、姫路市、神戸市、伊丹市、沖縄市、うるま市、浦添市）市政調査会臨時研修会
	研修費	30,000 円	第19回全国市議会議長会研究フォーラム、市政調査会拠出金
	広報費	98,278 円	市政レポート発行、配布
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	円	
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	600,000 円	
差引残余 ①－②		0 円	

様式第5号

政務活動費出納簿

【令和6年度分】

(単位：円)

年月日	内 容	収入額	支出額	政務活動費経費内訳								
				調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	事務所 費
R6. 4. 10	政務活動費交付金	300,000										
R6. 4. 12	市政報告書 デザイン印刷 費		98,278			98,278						
R6. 6. 25	会派行政視察 (7/8～10)		80,788	80,788								
R6. 7. 4	市政調査会拠 出金		7,000		7,000							
R6. 7. 29	市政調査会拠 出金		7,000		7,000							
R6. 10. 1	全国市議会議長 会研究フォー ム参加費		9,000		9,000							
R6. 10. 10	政務活動費交 付金	300,000										
R6. 12. 11	視察 (1/28- 1/29) 航空券		12,710	12,710								
R6. 12. 28	視察 (1/28- 1/29) 新幹線		14,810	14,810								
R7. 1. 15	市政調査会臨時 研修会 (11/7～ 11/11)		298,400	298,400								
R7. 1. 16	市政調査会拠 出金		7,000		7,000							
R7. 2. 14	会派行政視察 (1/29～31)		65,014	65,014								
経費小計				471,722	30,000	98,278						
合計額		600,000	600,000	差引残余額						0		

様式第 6 号

政務活動費支出簿

使途項目	調査研究費 /
------	---------

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
R6. 6. 25 /	80,788 円 /	会派視察（7/8～10）（京都、姫路、神戸、伊丹） /	
R6. 12. 11 /	12,710 円 /	視察（1/28～29）（東京都、沖縄市）航空券 /	
R6. 12. 28 /	14,810 円 /	視察（1/28～29）（東京都、沖縄市）新幹線 /	
R7. 1. 15 /	298,400 円 /	市政調査会臨時研修会（11/7～11）台湾花蓮市研修 /	
R7. 2. 14 /	65,014 円 /	視察（1/29～31）（うるま市、浦添市） /	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	471,722 円 /		

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R6. 6. 25
支出証拠書類の額面金額		80,788	円
支出按分率（※按分が必要な場合）			
政務活動費支出金額		80,788	円
【支払概要】 R6. 7. 8～10 会派視察に係る交通費及び宿泊費の旅行会社支払分 【内訳】 ・ 交通費（飛行機・新幹線・高速バス） 53,535円 ・ 宿泊費（2泊）24,900円 ・ 手数料 2,353円			
領収書等添付欄 ☐ 別紙に添付			

KIRWMBLVZOXG7XYGEUO

RS-1137-20240730-0003-2407006-S1

近畿日本ツーリスト

2025年04月11日

領 収 証

再発行

下記金額正に領収いたしました。

山崎 智樹 様

金 額 : ¥80,788

但 し : 7/8～10会派視察旅費として
2024年6月25日 合計 : ¥80,788

200

近畿日本ツーリスト株式会社
盛岡営業所
営業所長 千葉 潔
7-1-1イオンモール盛岡南2F
TEL 019-907-8505
承認者 千葉 潔 発行者

ご注意 1金額の訂正したものは無効とします。〒020-0866 岩手県盛岡市本町
2金額の頭部に通貨記号の表示をいたしております。

＜お客様用＞

インボイス（適格請求書）の発行が必要な場合は、当社取扱店舗までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

盛友会 会派視察 日程表 (R6. 7. 8~7. 10)

【7月8日 (月)】

盛岡駅東口バス乗り場 (7:30) —— (リムジンバス) —— (8:15) 花 巻 空 港
 花 巻 空 港 (9:15) —— (JAL 2 1 8 0 便) —— (10:40) 伊 丹 空 港
 伊 丹 空 港 (11:10) —— (リムジンバス) —— (12:00) 京 都 駅 八 条 口
 京 都 駅 (12:00) —— (徒 歩) —— (12:10) ホ テ ル
 ホ テ ル (12:20) —— (徒 歩) —— (12:30) 京 都 駅 八 条 口
 京 都 駅 (12:35) —— (タ ク シ ー) —— (13:00) 京 都 大 学 桂 キ ャ ン パ ス
 (昼 食 : 京 都 大 学 内)

京都大学 様視察 (1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0)

〒615-8246 京都府京都市西京区京都大学桂キャンパス Tel : 075-383-2000

・盛岡発学内ベンチャー (株) フィジオスバイオテックについて

京都大学桂キャンパス (15:35) —— (タ ク シ ー) —— (16:05) ホ テ ル

《宿 泊》 ホテルエルシエント京都八条口 (京都市南区東九条東山王町13)

【7月9日 (火)】

ホ テ ル (8:10) —— (徒 歩) —— (8:20) 京 都 駅
 京 都 駅 (8:29) —— (ひかり535号) —— (9:14) 姫 路 駅
 姫 路 駅 (9:15) —— (タクシー) —— (9:25) 姫 路 市 役 所

姫路市 様視察 (9 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0)

〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地 Tel : 079-221-2035

・姫路ウォーカブル推進計画について

現 地 (駅 前) (11:30) —— (徒 歩) —— (11:35) 姫 路 駅
 (昼 食 : 姫 路 駅 周 辺)

姫 路 駅 (14:11) —— (ひかり512号) —— (14:33) 新 神 戸 駅
 新 神 戸 駅 (14:35) —— (タクシー) —— (14:45) 人 と 防 災 未 来 セ ン タ ー

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 様視察 (1 4 : 4 5 ~ 1 6 : 3 0)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-2 東館 Tel : 078-262-5050

・東日本大震災における教育現場での心のケアの取り組みについて

人 と 防 災 未 来 セ ン タ ー (16:35) —— (タクシー) —— (16:45) ホ テ ル

《宿 泊》 神戸ルミナスホテル三宮 (神戸市中央区江戸町92)

【7月10日（水）】

ホ テ ル（ 8:15 ） —— （タクシー） —— （ 8:50 ）神戸ファッションマート

神戸タータン協議会 様視察（ 9:00～10:30 ）

場所 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中6丁目9 9階コンベンションルーム3

TEL: 078-854-9701

・「神戸タータン」の事業展開について

神戸ファッションマート（ 10:35 ） —— （タクシー） —— （ 11:30 ）三 ノ 宮 駅

（昼食：三ノ宮駅周辺）

昼 食 先（ 12:25 ） —— （阪神本線） —— （ 12:35 ）神戸三宮バス乗り場

神戸三宮バス乗り場（ 12:45 ） —— （阪急観光バス） —— （ 13:25 ）伊丹空港南ターミナル

伊丹空港南ターミナル（ 13:30 ） —— （タクシー） —— （ 13:50 ）伊 丹 市 役 所

伊丹市 様視察（ 14:00～15:30 ）

〒664-8503伊丹市千僧1-1 TEL: 072-783-1344

・伊丹市DX「Smart Itami宣言」について

伊 丹 市 役 所（ 15:35 ） —— （タクシー） —— （ 15:50 ）伊丹空港北ターミナル

伊丹空港北ターミナル（ 16:50 ） —— （JAL2187） —— （ 18:10 ）花 巻 空 港

花 巻 空 港（ 18:25 ） —— （リムジンバス） —— （ 19:10 ）盛 岡 駅 東 口

視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

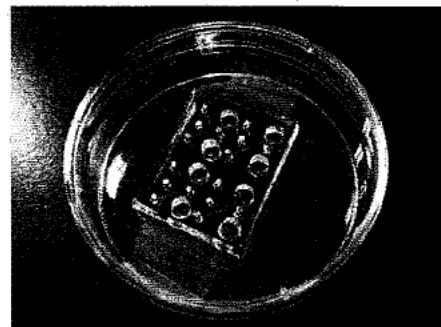
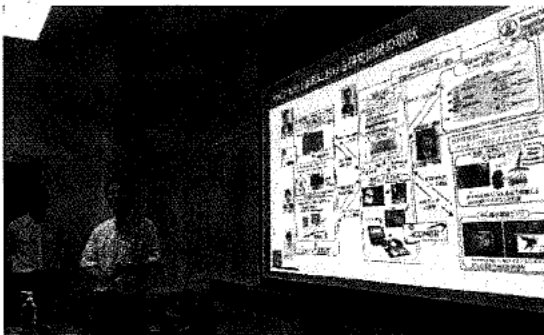
会派名	盛友会
実 施 日	令和6年7月8日（月）
参 加 者	村田芳三、竹田浩久、天沼久純、菊田隆、藤澤由蔵、千葉伸行、櫻裕子、工藤健一、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、佐藤明彦、千葉順子、山崎智樹、鈴木真吾、野田尚紀（以上16名）
視察先および 調査項目	京都大学 桂キャンパス 盛岡発学内ベンチャー （株）フィジオスバイオテックについて
視察の概要 および所感	【視察の概要】 再生医療や創薬での活用が期待されているMPS（マイクロ流体デバイス）＝臓器チップの開発に取り組んでいる（株）フィジオバイオテックは盛岡のTOLIC（東北ライフサイエンス機器クラスター）企業から派生した京都大学内のベンチャー企業である。 盛岡市でヘルステック産業の集積に取り組んでいるTOLICは、国内外の最先端ヘルステックの研究機関のニーズに対して、連携してデバイスのものでづくりの役割を担うビジネスモデルの実現を目指している。 （株）フィジオスバイオテックは盛岡市に設立・登記されている。京都大学内の研究拠点には、TOLIC企業から派遣されたスタッフが常駐して、大学関係者とともに研究開発を行っている。 【所感】 盛岡市のTOLIC企業が、世界から注目されているMPS＝臓器チップの研究開発を京都大学内で行われていることが素晴らしいと思った。 盛岡市内での事業展開に対する産業支援がメインであったが、TOLICのように盛岡市内の企業がハブとなって、全国、そして世界に事業展開を行っていくビジネスモデルへの盛岡市の関わり方、支援のあり方を考える必要があると思った。
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

京都大学ベンチャー視察報告書

日 時	令和 6 年 7 月 8 日(月) 14:00～15:30
場 所	京都大学桂キャンパス内 (株) フィジオスバイオテック
視察項目	盛岡発・京都大学内ヘルステック・ベンチャー企業について
先方対応者	京都大学工学研究科教授 (株) フィジオスバイオテック取締役 横川隆司氏 同 准教授 藤本和也氏 (株) アイカムス・ラボ XXXXXXXXXX 氏

視察内容	
【説明概要】	盛岡市を拠点にヘルステック産業の集積に取り組んでいる TOLIC（東北ヘルステック機器クラスター）は、異業種による広域な産学官連携により、ヘルステックデバイス開発を行うことを標榜している。 盛岡発の京都大学内ベンチャー、(株) フィジオスバイオテックは、その先進例で、再生医療や創薬、基礎研究への活用が期待される MPS（マイクロ流体デバイス）＝臓器チップの開発を手掛けていることから、これらの研究開発の現場を視察するとともに、行政支援のニーズを探った。 MPS は半導体の製造プロセスで作る。MPS が実現することで、動物実験の削減や薬剤開発期間の短縮、開発コストの削減をもたらすことから、政府も再生医療や創薬への支援を表明し、産業を後押ししている。 また、これらのナノテクノロジーの世界市場は、2020 年の 15.7 億ドルから、2030 年には 40.7 億ドルに達すると予想されており、研究開発の成功は、わが国にも大きなリターンが期待される。 盛岡・岩手以外に設立された TOLIC 発ベンチャーの研究開発の成果が、「ビジネス→リサーチ→ビジネス」という TOLIC が目指すビジネスモデルとして具現化されるよう、盛岡市の側方支援の必要性が訴えられた。

◆京都大学にある (株) フィジオスバイオテックにて



視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

会派名	盛友会
実 施 日	令和6年7月9日（火） 9：30～11：30
参 加 者	村田芳三、竹田浩久、天沼久純、菊田隆、藤澤由蔵、千葉伸行、櫻裕子、工藤健一、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、野田尚紀、千葉順子、山崎智樹、鈴木真吾、佐藤明彦 計 16名
視察先および 調査項目	兵庫県姫路市 姫路ウォーカブル推進計画について
視察の概要 および所感	【概要】 姫路市は、歴史的な観光地である姫路城を中心に、インバウンドも含め多くの観光客が訪れる。そのため、歩行者に優しい空間・環境の整備が特に重要視されており、駅前の再整備やトランジットモール化によるハード面からのアプローチ、ウォーカブル推進計画による官民連携による賑わい創出など「人を中心」としたまちなかづくりを行なっている。 今回の視察では、駅前での再整備や計画を推進する上での官民連携による取組について、立上げから現状に至るまでの経緯等について研修を行った。 【所感】 ウォーカブルな街を共に掲げているだけあり、世界遺産である姫路城の駅からの眺望を確保しつつ、民間による魅力ある空間づくりが形成されており、官民一体となった取組が盛岡市として学ぶべき点が多くあった。城への動線へのまちづくり参画については特にも参考にしたい。
【添付資料】 参加者により共同作成した報告書	

盛友会会派視察(姫路市)

日 時	令和6年7月9日(火) 9:30~11:30
場 所	姫路市役所
視察項目	姫路市ウォーカブル推進計画について
対応者	姫路市都市計画課 係長 [REDACTED] 産業振興課中心市街地活性化推進 室長 [REDACTED] ほか

視察内容	
【視察内容】	1 姫路市におけるウォーカブルまちなかづくりについて (都市計画課) (1) ハード面における人中心のまちづくり 姫路駅北駅前広場の再整備をすることで、歩行者空間の確保、バリアフリー化を実現。また、メインストリートから駅までの交通動線については、トランジットモールを導入し、路線バスやタクシー以外の車両の通行を禁止することで、渋滞緩和及び人への安全性を確保している。また、ハード面の整備に伴い、公共空間の利活用を促進するために「姫路市ウォーカブル推進計画」を策定し、歩車道路の活用、団体の拡充、手続きのワンストップ化など計画における仕組みを明文化した。中ノ門筋エリアや駅前広場での社会実験を通じ有効性を確認できている。 2 ウォーカブルなまちなかづくりの推進 (産業振興課・中心市街地活性化推進室) 駅と世界遺産(姫路城)を結ぶメインストリートを従来の車中心から人へシフト(車線減少+歩道拡幅)。整備後、駅周辺ではホテルやマンションが建設、民間投資が行われることで地価が上昇した。しかし、思ったほど人の滞留がなかったことから、沿道への機能誘導+地先の一体利用を促進するため、ウォーカブル推進計画に基づき、民間主導による大手前通りまちづくり協議会が中心となり、社会実験がスタート。特徴としては、民間側と行政側の得意分野や役割を相互理解し、公民連携により事業を推進すること。社会実験を経ることで、令和3年2月に全国初の歩行者利便増進道路制度(通称:ほこみち制度)に指定され、継続的取組を通じ魅力ある「ほこみち」の展開に寄与している。 3 質疑応答 Q:民間主導での展開であるが、収益性や継続性はどうか。 A:チャレンジショップ的な活用もあり、収支的には赤字が多く、継

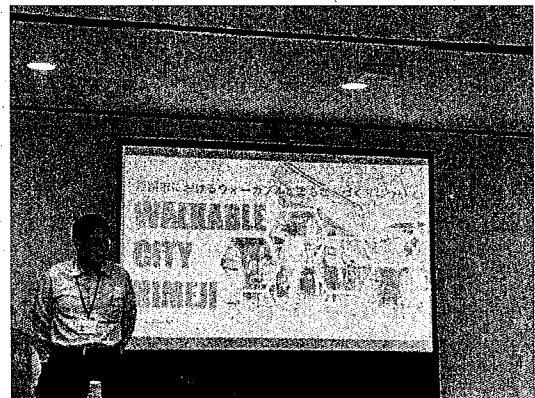
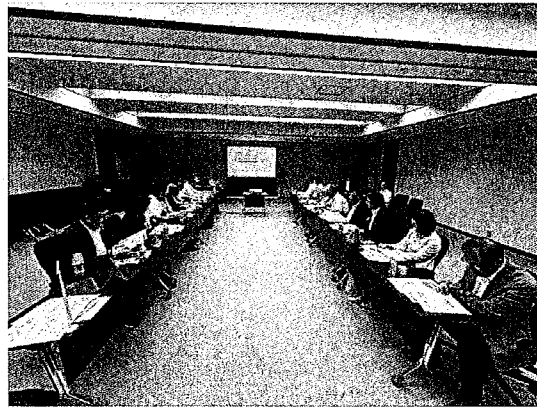
続的に出店するのが難しい状況でもある。

Q:観光客やインバウンドも多く訪れることと思うが、まちなかガイド的なものはいるのか。

A:特にいない。

Q:姫路城の眺望を大事しているが、景観的なガイドライン等はあるか。

A:都市計画に基づき高さの制限はある。メインストリートに接する建築物の高さ制限については35m、後方については50mとなっている。



視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

会派名	盛友会
実 施 日	令和6年7月9日（火）
参 加 者	村田芳三、竹田浩久、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、千葉伸行、櫻裕子、工藤健一、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、佐藤明彦、千葉順子、鈴木真吾、山崎智樹、野田尚紀（以上16名）
視察先および 調査項目	兵庫県神戸市 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 行政視察「東日本大震災における教育現場での心のケアの取組について」
視察の概要 および所感	【視察の概要】 ① 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターの施設視察 ② 阪神淡路大震災及び東日本大震災の二つの震災において、スクールカウンセラーとして心のケアに取り組んだカウンセラーを訪問し、今後のメンタルケア事業の推進方法について、ご助言を伺った。 【所感】 ① 人と防災未来センターについては、阪神・淡路大震災が都市部地震であったこともあるが、センターの立地が、交通の便がよく、学校の課外学習としても利用しやすい環境にあった。 施設においても、映像と振動により地震のすごさを体感できるブースや、震災を自分ごととして学習できるように工夫された施設であった。 ② スクールカウンセラーの必要性は、現在、不登校児童生徒が増加する中で、とても重要とされているが、専門人材の育成に苦慮しているのが現実。 本県のカウンセラー人口を増やす取組は、まずは、その必要性を市民に理解いただくことから必要ではないかと感じた。
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

盛友会 会派視察(令和 6 年 7 月 8 日(月)～10 日(木))

日 時	令和 6 年 7 月 9 日 (火) 14 : 45～16 : 30
場 所	兵庫県神戸市 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
視察項目	東日本大震災における教育現場での心のケアの取組について

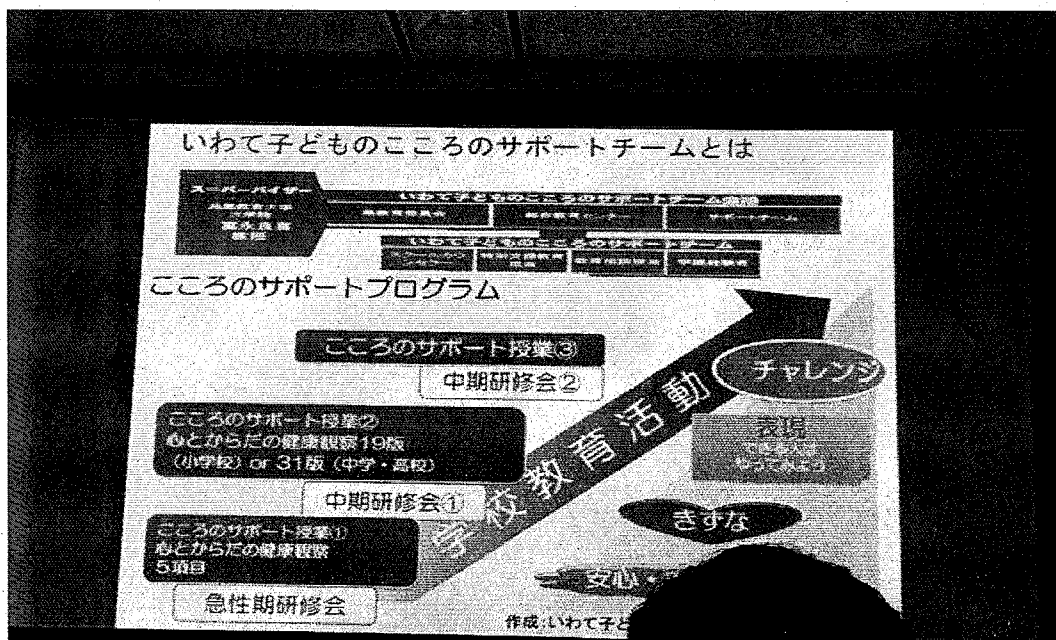
視察内容	
【主な内容】	① 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 施設視察 本センターは、平成 14 年 4 月に兵庫県が設置し、公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構が運営を行っている施設。阪神・淡路大震災の経験を語り継ぎ、その教訓を未来に生かすことを通じて、災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援を図り、安全・安心な市民協働・減災社会の実現に貢献することをミッションとしており、「減災社会の実現」と「いのちの大切さ」「共に生きることの素晴らしさ」を世界へ、そして未来へと発信することを目的としている。 さらには、世界的な防災研究の拠点として、災害全般に関する有効な対策の発信地となることをめざしている。 ② 阪神・淡路大震災及び東日本大震災においてスクールカウンセラーとして、児童生徒のケアに当たった専門員から、今後のメンタルケア施策の推進策について意見交換 ● 対応者（現職） ・近畿地方更生保護委員会 委員 [] 氏 ・兵庫県立大学大学院 減殺復興政策研究科博士課程後期課程 [] 氏 ・兵庫県立大学 名誉教授 富永 良喜氏 ・臨床心理士を始めとするカウンセラーに従事できる専門人材の不足は、地方では顕著な問題。専門人材の養成を行う必要があるが、現在、学校心理士を設置する例もあるが、教員が学校心理士になる場合は、教員としての役割と分けて考えるべきであろう。 ・岩手県の市町村は特にも脆弱な体制であることから、巡回型カウンセラーを今後も定着させる必要がある。
【まとめ】	1 復興センターの設置 東日本大震災は、沿岸部を中心に被害が甚大であったため、東北各県でも震災遺構施設がすべて沿岸部に設置されている。四国 4 県の広大な面積を有する岩手県では、沿岸の該当施設を訪問するにも移動距離があり、震災から年数が経つにつれ、内陸部から沿岸部に震災遺構施設を見学する目的で訪問する機会が減少することが懸念される。 ・内陸部に新たに施設を建設することは困難であることから、出張施設のような形で、内陸部にいながら容易に震災の甚大さ、災害の備えの重要性を考える機会を設けることも必要ではないと考えられる。

2 カウンセラーの養成

地方においては、資格取得のための学習機会が少なく、人材養成は難しい面がある。

今後、カウンセリングの体制を拡充するためには、有資格者の県内への移住や、遠隔によるカウンセリングの体制整備を行う必要があると考えられる。

また、この課題は、岩手県に限らず、人口減少が著しく進む地方において共有の課題であり、国において対策を講ずるべき対策であると考えられる。



視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

会派名	盛友会
実 施 日	令和6年7月10日（水）
参 加 者	村田芳三、竹田浩久、菊田隆、藤澤由蔵、千葉伸行、櫻裕子、 工藤健一、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、佐藤明彦、千葉順子、鈴木 真吾、野田尚紀、山崎智樹
視察先および 調査項目	兵庫県神戸市 神戸タータンのブランディングについて
視察の概要 および所感	【視察の概要】 ① 神戸タータン協議会の概要 ② 普及に向けた取り組み ③ 市との連携について（岩銀タータン） 【所感】⇒各自作成 「神戸タータン」という唯一無二のものを汎用性あるものにし、 町おこしに使おうという観点は非常に参考になった。 神戸人（神戸に住まう人働く人学ぶ人）の地域愛表現として、 神戸でしか売っていないというブランドを作り上げたことが盛岡でも活用 できると感じたので、ぜひ岩手銀行で作った岩銀タータンを調査したい。
【添付資料】 参加者により共同作成した報告書	

盛友会 会派視察(令和6年 7 月 8 日(月)～10 日(水))

日 時	令和6年7月10日(水) 9:00～10:30
場 所	兵庫県神戸市 神戸タータン協議会
視察項目	「神戸タータン」の事業展開について

視察内容	
【主な内容】	●対応者 神戸タータン協議会 石田原 弘 氏 1 神戸市の概要 神戸市（こうべし）は、<u>兵庫県</u>の南東部に位置する<u>市</u>。<u>兵庫県</u>の<u>県庁所在地</u>及び人口が最多の<u>市</u>で、<u>政令指定都市</u>である。市域は<u>垂水区</u>・<u>須磨区</u>・<u>長田区</u>・<u>兵庫区</u>・<u>中央区</u>・<u>灘区</u>・<u>東灘区</u>・<u>北区</u>・<u>西区</u>の9区から構成される。 2020年国勢調査によると人口は152万5152人であり、<u>近畿地方</u>（<u>関西</u>）では<u>大阪市</u>に次ぐ第2位である^[1]。<u>大阪市</u>や<u>京都市</u>と共に、<u>京阪神大都市圏</u>（<u>近畿大都市圏</u>）における中心都市である。また、神戸市独自で<u>神戸都市圏</u>を形成している。大阪市から約30km程度しか離れておらず、<u>大阪都市圏</u>から連続する市街地（<u>コナベーション</u>）を有することから、<u>阪神都市圏</u>と称されることもある。 2 「神戸タータン」の事業展開について ①神戸タータン協議会の概要と誕生経緯 色の幅、配列を決めており、対角線をもとにした正方形となるタータンのこと。 2017年 神戸開港150年の記念事業について発案し、神戸市からイベント開催の相談がある。→一過性のものではなく神戸タータンの文化としての提案 市と取り組むとコンペまでの流れが複雑となり、民間のプロジェクトとして進めることを決定 市には監査にて関わってもらい、神戸商工会と連携してスタートした。 ②普及に向けた取り組み 商標登録をとっているため、神戸ブランドとして確立。協議会に年間3万円（商工会は年間1万円）で登録すれば何回でも利用可。ユニクロ、コイケヤ、学校の制服等でも神戸をプロモーションとして活用している。オリンピックメダルの一部も使われた。民間、教育機関がエンジンとなり、行政機関がモーター・アクセルの役割を持ち普及に向け取り組んでいる。他、スノーピーフェスや全小中学校に配布するものにも取り入れ、知的財産として確立させている。つまり、全神戸人が神戸の広報活動に携わる。 ③市との連携について 岩手銀行創立90周年関連プロジェクトとして「いわぎんタータン」制作。

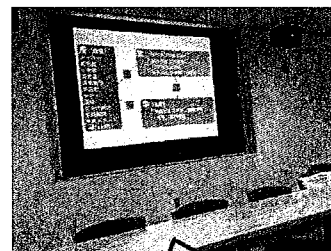
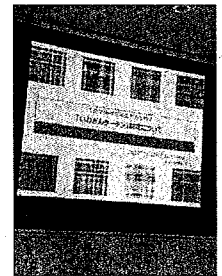
ワークショップを重ね、現在すべての行員がいわぎんタータンを身につけて勤務している。

[質疑]

・盛岡ではホームスパンビジネスがなかなかお金にならないとされているが、どのように展開していくべきか

→アパレルブランドとして勧めるものであれば可能性が高いと思う。日本ホームスパンはシャネルとコラボしたりしている。アパレルの共通言語を作ってはどうか。

「岩手〇〇」



様式第9号

視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

会派名	盛友会
実 施 日	令和6年7月10日(水)
参 加 者	村田芳三、竹田浩久、菊田隆、藤澤由蔵、千葉伸行、櫻裕子 工藤健一、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、佐藤明彦、野田尚紀、 千葉順子、山崎智樹、鈴木真吾
視察先および 調査項目	伊丹市役所 伊丹市DX「スマートItami宣言」について
視察の概要 および所感	【視察の概要】 1 伊丹市のDX推進の方法について説明 2 Q&A 【所感】 市役所などの行政手続きのオンライン化に加え、AIチャットボットや オープンデータの導入など、多角的なデジタル化を進めていた。 盛岡市においては学ぶべき点が多かったが、費用面の課題が大き く、DXの土台を作っていく上で、取組の優先順位を明確にする必要が あると感じた。
【添付資料】 参加者により共同作成した報告書	

伊丹市役所 視察 報告書

日 時	令和6年7月10日(水)14:00~15:30
場 所	伊丹市役所
視察項目	伊丹市DX「Smart Itami宣言」について
先方対応者	総合政策部 デジタル戦略室 主幹 北川 善也様 他

視察内容	
【主な内容】	1. 担当課説明 伊丹市では社会的課題である労働人口の減少や、多様で創造性ある働き方を目指し、令和元年「スマート伊丹宣言」を標榜しました。主なテーマは3つあり、 ・超勤レスで、スマートな働き方を実現します ・ペーパーレスで、スマートな職場環境を構築します ・キャッシュレスで、スマート決済を導入します 更に今では ・DX（スマート市役所いたみ） ・テレワーク、WEB会議など新しい生活様式 ・来庁レス、はんこレス も新しいデジタル戦略して取り組んでいます。 令和4年に新庁舎が建てられ、スマート窓口や、働き方の多様性を考えたミーティングスペースなど、来庁される方、働く職員の事をよく考えたデザインになっておりました。 子育て世代や身体の不自由な方にはオンライン申請、来庁された方にはタブレットでの申請、申請書のQRコードで全庁共有でき「行かない」「書かない」「待たない」窓口業務は盛岡でも取り入れたい素晴らしい内容でした。 各課に一台、持ち帰れるタブレットがあり、テレワークにも力をいれており、新しい生活様式にも馴染んでおります。 2. Q&A Q 年間、どれくらいオンライン申請があるか?? A 約40000件あります。年々増加傾向にあり、多ければ多いほど費用を削減できるので、より力を入れていく方向です。 Q テレワーク業務はどの職種の方が利用できますか?? A 職員すべてが利用可能です。一度に多くの職員がテレワーク業務という訳にはいかないのですが、状況に応じて

【質疑応答】

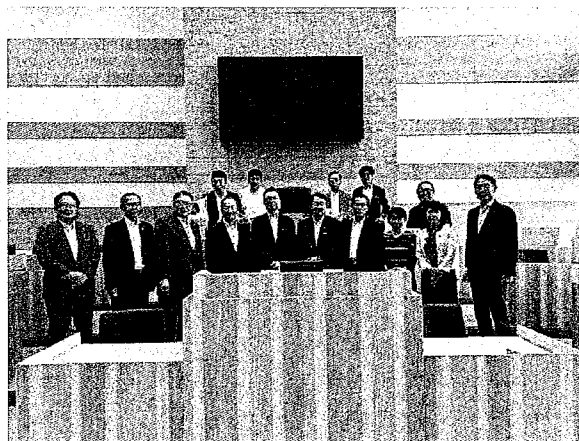
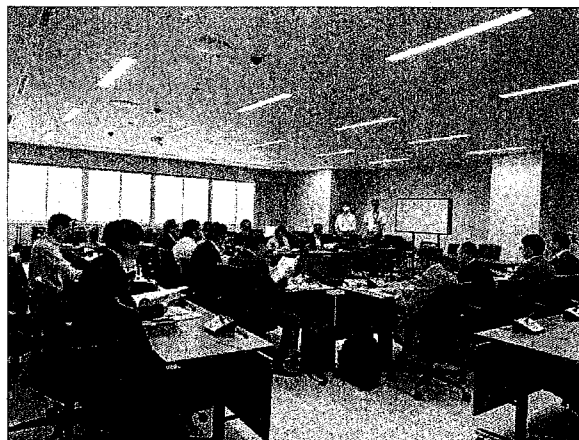
推進しています。

Q 議会ではこういったDXが進んでいますか??

A 議案書など全てペーパーレスにしております。過去の大事な書類に関して電子で残している。

Q 超勤する人は減っていますか??

A 微増している。AIやDXのリテラシーを高める必要がある。



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R6. 12. 11
支出証拠書類の額面金額	12, 710 円		
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額	12, 710 円		
【支払概要】 視察 (1/28～29) 東京都新宿区、沖縄市 旅費 ・ 航空券 (羽田空港→那覇空港) 12, 710 円			
領収書等添付欄 ☒ 別紙に添付			

のりしろ



Web b8a7785fa4f85d504f99ff92bd9f514f
2025年04月11日 00:10発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

山崎智樹 様

金額 12,710円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312212002770
航空券/料金券発行日	2024年12月11日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

ヤマザキ トモキ 様

2025年1月29日 (水)

運賃：スペシャルセイバー

08:05 東京 (羽田)

クラス：普通席

12,710 円

11:05 沖縄 (那覇)

便名：JAL905

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 12,710円

様式第 7 号

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R6. 12. 28
------	-------	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	29,620	円
支出按分率（※按分が必要な場合）	2 分の 1	
政務活動費支出金額	14,810	円
【支払概要】 視察（1/28～29）東京都新宿区、沖縄市 旅費 ・新幹線（盛岡→東京） 14,810 円		

領収書等添付欄	☒ 別紙に添付
---------	---

の
り
し
ろ

発行日 2025年04月10日17時14分
発行番号 No.E579451298509950128

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 : T9011001029597

宛名	鈴木 真吾 山崎 智樹 様
金額	¥29,620(税込10%) [／] クレジットカード利用(カード番号下4桁 : XXXXXXXX)
但し	きっぷのご購入代金として

きっぷの明細

予約番号	E57945
購入日	2024年12月28日 [／]
乗車日	2025年01月28日
列車名・区間	○はやぶさ24号指定席 盛岡 → 東京 ○乗車券 盛岡(岩手県) → 東京都区内
ご利用人数	おとな2名

令和6年度 盛友会会派視察行程

【1月28日(火)】

盛岡駅 (13:50) — (はやぶさ24号) — (16:05) 東京駅
東京駅 (16:10) — (丸の内線) — (16:30) 新宿三丁目

伊勢丹視察 (16:40~18:30)

※ 伊勢丹における企業内企業の取り組みについて

○ 伊勢丹別館において、伊勢丹社員からのヒアリング

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-16-10 PC2A棟

新宿三丁目 (19:00) — (地下鉄等) — (19:50) 穴森稲荷
《宿泊》

ホテルJALシティ羽田

〒144-0042 東京都大田区羽田旭町4-11

【1月29日(水)】

宿泊先 (6:30) — (リムジンバス) — (6:50) 羽田空港

(昼食)

羽田空港 (8:05) — (JAL905便) — (10:45) 那覇空港
那覇空港 (11:30) — (レンタカー) — (13:30) 沖縄アリーナ

沖縄アリーナ視察 (13:30~15:30)

○ プロスポーツとまちづくりについて(現地視察)

〒904-0034 沖縄県沖縄市山内1-16-1

電話番号 050-5444-1478

那覇空港 (15:40) — (タクシー) — (17:00) 宿泊先

《宿泊》

春日観光ホテル

〒904-2245 沖縄県うるま市赤道179-1

【1月30日(木)】

宿泊先 (9:10) — (借上げバス) — (9:25) あまわりパーク

うるま市視察 (9:30~11:30)

※あまわりパーク歴史文化施設会議室で開催

○勝連城跡の保存・活用について(現地視察含む)

〒904-2311 沖縄県うるま市勝連南風原3807-2

電話番号 098-978-2033

あまわりパーク (11:35) — (借上げバス) — (11:45) 昼食会場

昼食会場 (12:50) — (借上げバス) — (13:50) 浦添市産業振興センター・結の街

令和6年度 盛友会会派視察行程

浦添市視察(14:00~15:30)

○浦添市における企業の立地、定着の促進、支援の取り組みについて

※浦添市産業振興センター「結の街」の現地視察

〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4丁目13-1

(浦添市産業振興センター「結の街」)

※1名途中退席

浦添市産業振興センター・結の街 (15:35) — (借り上げバス) — (16:00) 宿 泊 先

《宿泊》

ホテルアトステイ那覇国際通り

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1丁目3-43

【1月31日(金)】

宿 泊 先 (8:50) — (借り上げバス) — (9:10) 那 覇 空 港
那 覇 空 港 (10:15) — (JAL902便) — (12:25) 羽 田 空 港
(昼食)

羽田空港第1ターミナル (12:50) — (モノレール) — (13:08) 浜 松 町 駅
浜 松 町 駅 (13:13) — (京浜東北線) — (13:17) 東 京 駅
東 京 駅 (14:20) — (はやぶさ27号) — (16:33) 盛 岡 駅

視 察 等 概 要 書

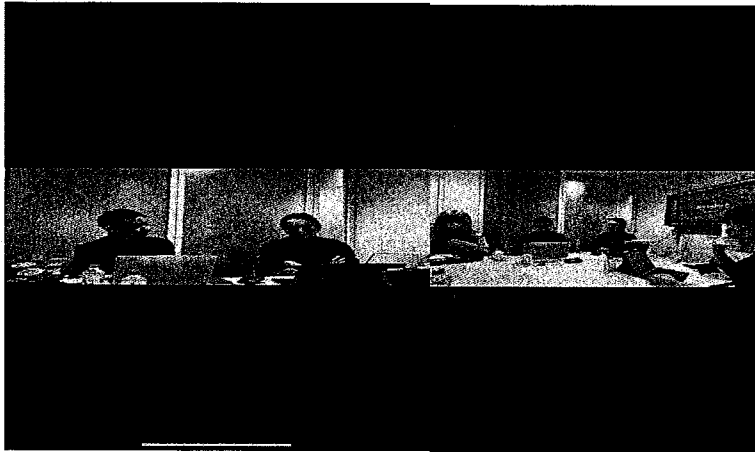
議員氏名 山崎 智樹

会派名	盛友会
実 施 日	令和7年1月28日(火)
参 加 者	山崎 智樹、鈴木 真吾
視察先および 調査項目	株式会社 三越伊勢丹 メタバースを使用した地方創生(まちづくり)と人材育成
視察の概要 および所感	【視察の概要】 ・テクノロジーの変遷 ・売れる物を作ることから、顧客が望む物を作る課題点 ・メタバースでつくる都市計画 ・ヴァーチャルからリアルへどう繋げるか 【所感】 伊勢丹のアパレル社員が閉塞感を感じての企業間起業に取り組み、教育機関との連携、そしてまちづくりへの展開に取り組んでいることに非常に感銘を受けました。行政との連携をもとに危機管理や都市計画につなげていくための大きなヒントを得たので、メタバースを中心としたweb3だけでなく、多角的なまちづくりの仲間を今後も増やしていきたい。
【添付資料】 参加者により共同作成した報告書	

視察(令和 7 年 1 月 28 日(火))

日 時	令和 7 年 1 月 28 日 (水) 16 : 30 ~ 18 : 00
場 所	東京都新宿区 伊勢丹新宿本店
視察項目	メタバースを使用した地方創生（まちづくり）と人材育成

視察内容	
【主な内容】	●対応者 株式会社 三越伊勢丹 営業本部マネージャー XXXXXXXXXX 様 株式会社 官民連携事業研究所 取締役 加藤 勝様 1 新宿伊勢丹本店 概要 全国の百貨店の売上トップを誇る「伊勢丹新宿本店」。新宿三丁目駅から徒歩でアクセス抜群で、アール・デコ様式の店舗建築は美しく歴史的建造物としても人気です。 ファッションアイテムの品ぞろえにも定評があり、客層は 20 代～中高年、ファミリーとあらゆる世代に向けた質の高いアイテムを豊富に取り入れています。上品さ・高級感がありながら敷居の高さをあまり感じさせない、気軽に利用できる雰囲気があります。 またカラフルな紙袋も、デザインが可愛らしくオシャレなことでも有名です。伊勢丹新宿店で働く魅力を歴史と共にお伝えしております。 2 メタバースを使用した地方創生（まちづくり）と人材育成 ウオーカブルな街を標ぼうする盛岡市は、インバウンド対策に取り組むうえで、メタバースによる市内の俯瞰図等を作成し、メタバースにより観光の疑似体験を行うことができる取組は、現在の観光施策の中でも、特徴的な取組となり得ることから、他地域との差別化を図る上で有効であると考えます。 また、メタバースによる将来の都市空間を可視化することは、まちづくり（都市計画）を考える上で、共通認識を図ることが容易に可能になると考える。 今後、将来どのような事業展開を図るかによって、導入する DX 化の施策も変わることから、早期の段階で、長期的な視野に立った事業計画が必要だと思った。



視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

会派名	盛友会
実 施 日	令和7年1月29日（水）
参 加 者	山崎智樹、鈴木 真吾
視察先および 調査項目	沖縄県沖縄市 沖縄アリーナと周辺施設 ・プロスポーツとまちづくりの関係性について
視察の概要 および所感	【視察の概要】 1 沖縄アリーナ施設見学 2 アリーナ内店舗、近隣見学 3 Q&A 【所感】 8000人収容のアリーナを見てきたが、街の本気度が伝わってきた。盛岡のB2ビッグブルズはアリーナにグッズ販売のスペースはなく、ファン同士で交流できる場もないが、試合中は客席と試合会場が近いという利点がある。沖縄も盛岡も「プロスポーツを通じたまちづくり」という共通項を参考に今後は客層や観光との接点を考えてみたい。
【添付資料】	

報告書

日 時	令和7年1月29(水)
場 所	沖縄県沖縄市
視察項目	プロスポーツ関わるまちづくりとアリーナについて
	沖縄アリーナ

視察内容

【主な内容】

【視察の概要】

- 1 沖縄アリーナ見学
- 2 アリーナ内店舗、近隣見学
- 3 Q&A

沖縄アリーナはB1リーグの強豪である琉球ゴールデンキングス専用であり、8000人を収容できプロスポーツをまちづくりの一つとして参加する取り組みを多く展開している。沖縄市には屋外の公園にもバスケットゴールが設置されており、平日日中でも観光客と地元のファンが交流できるような設計となっていた。街中ではないためアクセスもしにくいエリアであったが、近隣駐車場は乏しく公共交通機関でもバス停から10分ほどの歩く距離があり、盛岡同様中心市街地から離れている印象を持った。しかしながら18時からの試合であったが、昼過ぎにはファンが集まっておりファン同士での交流やグッズ購入が行われ、外にはキッチンカーが並び収容人数を元にしたスタジアム、アリーナの活気を感じてきた。

【質疑応答】

対応者 アリーナ施設管理者 ■■■様

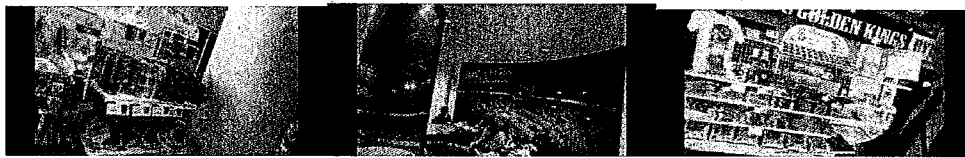
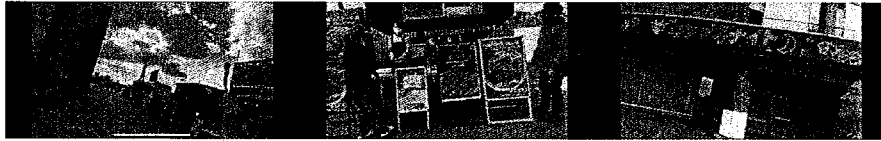
現状と課題について

→まちづくりの一環としてプロスポーツが熱狂を生むことに明らかに寄与しており、公共交通の活用や観光客への誘致、飲食店を含んだ地域経済への効果は大きくあると言える。しかしながら、試合のある日とない日の差が激しく、試合開催は土日に限られるためその日は混雑し、それ以外は閑散としているため、いかに試合のない日でも活用してもらえるのかという工夫は今後必要である。

現在はグッズをまちおこしのグッズとして普段着もできるようなデザインも多数揃えている。今後は学生とコラボした商品をもっと出してみたい。

【まとめ】

8000人収容のアリーナを見てきたが、街の本気度が伝わってきた。盛岡のB2ビッグブルズはアリーナにグッズ販売のスペースはなく、ファン同士で交流できる場もないが、試合中は客席と試合会場が近いという利点がある。沖縄も盛岡も「プロスポーツを通したまちづくり」という共通項を参考に今後は客層や観光との接点を考えてみたい。



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R7.1.15
------	-------	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	298,400	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	298,400	円

【支払概要】 市政調査会 R6.11.7~11 台湾花蓮市視察調査	項目	金額（円）
	JR（盛岡⇄浜松町）乗車券・特急券	29,620
	モノレール（浜松町⇄羽田空港）乗車券	1,040
	航空運賃	70,300
	空港諸税及び利用料、サーチャージ	28,680
	宿泊費（朝食代含む）@21,250円×4泊	85,000
	現地交通費	57,439
	添乗員・通訳費用	26,321
	合計	298,400

領収書等添付欄

☐ 別紙に添付

領 収 証

BC-00034682
発行日 2025/01/15

山崎 智樹 様

金額 ¥298,400.-

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済上記金額を正に領収いたしました
但し、11/7~11/11 盛岡市市政調査会臨時研修会
（台湾花蓮市視察調査）旅費として☐ 現金
☐ 小切手
☒ 振込 298,400 円
☐ クレジット
☐ その他 ()
()名鉄観光サービス株式会社
（本社所在地）
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号
（住友生命名古屋ビル8階）

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

責任者印 領収者印

BC-030474

11/7～11/11盛岡市市政調査会臨時研修会（台湾花蓮市視察調査） 行程

11/7 (木)	【花蓮 パークビューホテル&リゾート 泊】
行程	備考
7:11 盛岡駅発	はやぶさ4号
9:23 東京駅着	東京駅→浜松町（JR）、モノレール乗り換え
10:20 羽田空港着（第2ターミナル）	
12:40 羽田空港発	NH853便（ANA）
15:50 松山空港着	専用車にて松山駅へ移動
17:47 松山駅発	普悠瑪282にて花蓮へ
20:23 花蓮駅着	※駅にて縣政府、市公所関係者による出迎え
21:00 ホテル着	専用車にて移動、チェックイン
11/8 (金)	【花蓮 パークビューホテル&リゾート 泊】
9:30 ホテル出発	
市内視察	慶修院
11:00～11:50 花蓮市長表敬訪問	場所：3階簡報室
12:00～14:00 花蓮市長昼食会	場所：闔家歡餐廳
市内視察	媽祖廟
15:00～15:30 花蓮縣長表敬訪問	
16:00～17:00 原住民族ショー視察	場所：花蓮縣台灣原住民族文化館
17:05 ホテル着	
17:15～17:55 議員交流会	花蓮縣議員と盛岡市議会議員との交流会
18:00～21:00 花蓮縣政府主催歓迎レセプション	
11/9 (土)	【花蓮 パークビューホテル&リゾート 泊】
9:30 ホテル出発	
10:00～11:00 記念碑訪問、記念植樹	5周年祝賀会（記念碑訪問、植樹活動） 場所：水牛公園（花蓮市仁愛街102巷）
11:10～11:50 移動	
12:00～13:40 花蓮市公所主催歓迎レセプション	場所：遠雄悦来ホテル・ビクトリアホール
13:45～14:25 移動	
14:30～15:30 盛岡りんごフェアin花蓮 セレモニー	場所：花蓮遠東百貨店
16:00～17:00 ホテルにてパレード準備	
17:30～22:00 山車パレード参加	2024花蓮加油-盛岡山車カーニバル
11/10 (日)	【台北 シーザーパークホテルタイペイ 泊】
9:00 ホテル発	
市内視察	花蓮光復製糖工場
14:02 花蓮駅発	普悠瑪273にて台北へ ※駅にて縣政府、市公所関係者による見送り
16:35 台北駅着	ホテルチェックイン
18:30～21:00 夕食（合同打ち上げ式）	場所：シーザーパークホテルタイペイ
11/11 (月)	
9:00 ホテル発	
9:30～10:00 政府交通部観光署表敬訪問	
11:30 松山空港着	
13:35 松山空港発	NH852便（ANA）
17:30 羽田空港着	
18:30 羽田空港発	モノレール、浜松町→東京駅（JR）乗り換え
20:16 東京駅発	はやぶさ45号
22:27 盛岡駅着	1

視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

会派名	盛岡市市政調査会
実 施 日	令和6年11月8日（金）
参 加 者	竹田浩久、菊田隆、天沼久純、工藤健一、浅沼克人、佐藤明彦、千葉順子、鈴木真吾、山崎智樹、野田尚紀（計10名）
視察先および 調査項目	台湾花蓮縣花蓮市及び花蓮縣 ・花蓮縣慶修院視察 ・花蓮市長表敬訪問 ・花蓮市長招待昼食会 ・花蓮縣長表敬訪問 ・原住民族ショー鑑賞 ・花蓮縣議員と盛岡市議会議員、意見交換会 ・花蓮縣政府主催歓迎レセプション
視察の概要 および所感	【視察の概要】 ・花蓮縣慶修院の視察 ・台湾花蓮縣及び花蓮市との相互理解 ・花蓮縣議員との意見交換会 ・花蓮市及び花蓮縣政府表敬訪問 花蓮市との友好都市締結5周年を記念した表敬訪問。いずれも、訪問目的は同様である。 また、令和6年4月に被害を受けた台湾沖地震や台風による甚大な被害を受けた花蓮市に対して、震災を見舞い、今後の震災復興に向けた支援策として、盛岡山車奉納を復興イベントにおいて運行することを報告し、今後の両市の友好について意見交換を行った。 【所感】 花蓮市庁舎では、全職員あげて、温かく迎えて下さり、盛岡市との友好都市締結を好意に受け止めて下さっていることを感じる事が出来た。 花蓮縣政府は、重厚感漂う庁舎で、関係者のみの歓迎であったが、意見交換からは、花蓮縣は、観光産業の締める割合が大きく、今後、日本・盛岡からの観光客の誘客を図りたい考えであることが理解できた。
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

会派名	盛友会
実 施 日	令和6年11月9日（土）
参 加 者	竹田浩久、菊田隆、天沼久純、工藤健一、浅沼克人、佐藤明彦、千葉順子、鈴木真吾、野田尚紀、山崎智樹（以上10名）
視察先および 調査項目	台湾花蓮縣花蓮市 盛岡市と花蓮市との友好都市締結5周年記念表敬訪問とPR活動
視察の概要 および所感	【視察の概要】 花蓮市との友好都市締結5周年を記念し、記念植樹、花蓮市公所歓迎レセプションにて交流、盛岡りんごを百貨店にて直接アピール販売、山車パレード参加を行った。 【所感】 花蓮市と盛岡市の友好都市記念モニュメントを前にしての記念植樹では更なる友好関係を築くことができた実感。台風等の影響も懸念していたがこの機会をもとに復興を盛り上げていこうという花蓮市関係者の熱い思いを感じることができた。花蓮市では市場で9割以上が青森りんごということもあり、盛岡りんごの赤く美味しい魅力を直接アピールし喜んでもらうことができた。今後活かしていきたい。 夜に開催されたパレードでは盛岡山車の大きな歓迎を受けた。復興だけでなく、盛岡に対しての熱烈歓迎をもとにどのように海外の方を受け入れもてなすのかの心意気について学ぶことができた。
【添付資料】 参加者により共同作成した報告書	

視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

会派名	盛岡市市政調査会
実 施 日	令和6年11月10日（日）
参 加 者	竹田浩久、菊田隆、天沼久純、工藤健一、浅沼克人、佐藤明彦、千葉順子、山崎智樹、鈴木真吾、野田尚紀（計10名）
視察先および 調査項目	台湾花蓮縣花蓮市 花蓮光復製糖工場見学
視察の概要 および所感	【視察の概要】 近代台湾産業のひとつである製糖業の歴史を学ぶ観光施設において、「台湾糖業の父」と称される盛岡市出身の新渡戸稲造の台湾での功績を再確認するとともに、台湾と盛岡、岩手、日本との歴史的な結びつきを再認識した。 【所感】 近代台湾産業の礎として、盛岡市出身の新渡戸稲造が「台湾糖業の父」と顕彰されていること、そして友好都市の花蓮市郊外に、このような施設があることは、盛岡市民として誇らしく、また足を運んでほしいと思った。 施設見学は、盛岡・岩手と台湾の間に連綿と続く歴史を再確認することができた。
【添付資料】 参加者により共同作成した報告書	

視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

会派名	盛岡市市政調査会
実 施 日	令和6年11月11日（月）
参 加 者	竹田浩久、菊田隆、天沼久純、工藤健一、浅沼克人、野田尚紀、千葉順子、山崎智樹、鈴木真吾、佐藤明彦（計10名）
視察先および 調査項目	台湾政府 政府交通部観光署表敬訪問
視察の概要 および所感	【表敬訪問の概要】 1 名刺交換 2 歓迎挨拶 3 来賓挨拶 4 記念品贈呈・交換 【所感】 台湾から盛岡市への訪問は約3万人に対し、盛岡市から台湾への訪問客の割合は低く、台湾政府からも更なる誘客促進の要望があった。 今後、花蓮市との友好都市提携をきっかけとした台湾への誘客促進は、5周年を機に、他都市の事例等を参考に、更なる展開を図る必要があると感じた。
【添付資料】 参加者により共同作成した報告書	

【市政調査会台湾・花蓮市視察報告書】

<<日 程>>

令和6年11月7日（木）～11月11日（月）

<<市政調査会>>

会長	竹田 浩久議員	菊田 隆議員
	天沼 久純議員	工藤 健一議員
	浅沼 克人議員	佐藤 明彦議員
	千葉 順子議員	野田 尚紀議員
	山崎 智樹議員	鈴木 真吾議員

【花蓮市の概要】

- 沿革 花蓮市は台湾花蓮県の県轄市。花蓮県政府の所在地。日本統治時代の1920年に花蓮港庁花蓮港支庁花蓮港街として再編され、1937年に郡制施行により花蓮港庁花蓮郡に属する。1940年に市制施行により花蓮港市になる。戦後の1946年に花蓮市と改称されて現在に至っている。
- 人口 約106千人
- 位置 北緯23度58分 東経121度36分
東京（羽田）から首都台北まで飛行機で約3時間30分
台北から特急列車で約2時間
- 気候 平均最高気温26.8度 最低気温20.7度 年間降水量2,157mm
- 姉妹都市 蔚山広域市（韓国）、与那国町（沖縄県）、アルバカーキ（アメリカ）、ベルビュー（アメリカ）、オウツフルン（南アフリカ共和国）
- 友好都市 高千穂町（宮崎県）、サンタマリア（フィリピン）、サイパン市（アメリカ）
盛岡市
- 主要産業・観光・政府関係

花蓮県、花蓮市の主要産業は、観光ならびに石材業。大理石の産地が近隣に所在する。

花蓮は、1622年にスペイン人が来航して砂金の採取を行った歴史がある。漢人が初めて入植したのは1851年であるが、当時は台湾東部への交通は海路に限られており、それは日本統治時代の1932年に臨海道路（現・蘇花公路）が開通するまで続いた。その当時は、多くの日本人移民がこの地に入植していた。1945年以降は中華民国により領有されて花蓮県が設置され、現在に至っている。

【視察日程】 2024 年 11 月 7 日(木)～11 月 11 日(月)

	地名	時間	スケジュール
7 日	盛岡駅集合	6:30	出発式
	盛岡駅発	7:11	はやぶさ 4 号にて東京駅へ
	羽田空港発	12:40	全日空にて台北・松山空港へ
	松山空港着	15:50	入国手続き後、バスで松山駅へ
	松山空港発	17:47	普悠馬 282 号にて花蓮駅へ
	花蓮駅着	20:23	駅にて縣政府、市公所関係者お出迎え
	ホテル着	21:00	パークビューホテルに到着後夕食を食べ就寝
8 日	花蓮市内	9:30	市内視察（慶修院）
		11:00	花蓮市長表敬訪問
		12:00	花蓮市長招待昼食会
		14:00	花蓮縣長表敬訪問
		16:00	原住民族文化館視察
		17:15	花蓮縣議員と盛岡市議会議員、意見交流会
		18:00	花蓮縣政府主催歓迎レセプション
		～21:00	パークビューホテルにて就寝
9 日	花蓮市内	9:00	ホテル出発
		10:00	水牛公園モニュメントにて記念植樹
		12:00	花蓮市公所歓迎レセプション
		14:30	盛岡りんごフェア IN 花蓮 花蓮遠東百貨店
		16:00	ホテルにて山車パレードの準備
		17:30	第 5 回盛岡山車パレード参加（盛岡観光 PR 活動）
		22:00	パークビューホテルにて夕食、就寝
10 日	花蓮市内	9:00	花蓮縣光復製糖
		12:00	工場見学（新渡戸稲造胸像等）
	台北市内	14:02	市内レストランで昼食
		18:00	昼食後普悠馬 273 号にて台北へ
		21:00	ホテルバンケットにて合同打ち上げ式 シーザーパークホテル着、就寝
11 日	台北市内	9:00	ホテル出発
		9:30	政府交通部観光署表敬訪問
		10:30	台北市内車窓見学
	羽田空港	13:35	全日空にて羽田空港へ
	東京駅	20:16	はやぶさ 45 号にて盛岡へ
	盛岡駅	22:27	解散

【11月8日(金)】

○ 花蓮縣慶修院見学

—盛岡関係者—

盛岡市長 内舘茂 氏

盛岡市議会議員 遠藤政幸氏

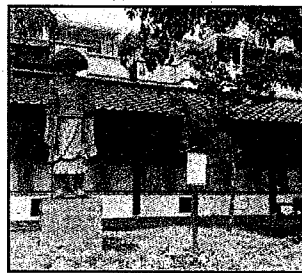
盛岡市議団 10 名

〈概要〉

台湾花蓮県吉安郷にある寺院。本尊は弘法大師、脇仏は不動明王と毘沙門天。境内には四国八十八箇所霊場を模した石仏が並んでいる。

日本統治時代の 1917 年に、で真言宗高野派の「吉野布教所」として建立された。戦後、慶修院と改称。1997 年、台湾の国家第三級古蹟に指定されている。2003 年に修復工事が完了した。

敷地面積的に、さほど広くないが、観光施設としては、寺院、土産物売り場、アイスクリーム等の売り場、トイレと完備され、日本人観光客は訪問しやすい内容であると感じた。



○ 花蓮市表敬訪問

はじめに、内舘市長が挨拶。友好都市締結 5 周年を記念と謝辞及び、令和 6 年 4 月の台湾沖地震及び台風被害への見舞いについて述べ、今後両市の友好がさらに発展するよう、復興支援策として、盛岡山車奉納の運行を行う目的で訪問したことを述べた。

魏嘉彦(ウェイジアイエン)市長からも、盛岡市訪問団の訪問を熱く歓迎するし、今後、両市の更なる友好関係の構築に、尽力したい旨の挨拶があった。

また、盛岡市からは、盛岡リンゴ、南部鉄器など、盛岡市を代表する名産品を表敬のお土産として持参した。

—花蓮関係者—

花蓮市長 魏嘉彦(ウェイジアイエン)氏、

花蓮市議会議員、花蓮市職員 他 多数



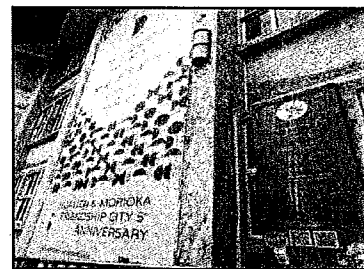
—盛岡関係者—

盛岡市長 内舘茂 氏

盛岡市議会議員 遠藤政幸氏

盛岡山車推進会、

盛岡市議団 10 名



○ 花蓮市主催歓迎昼食会

《昼食会参加者》

—花蓮関係者—

花蓮市長 魏嘉彦(ウェイジャイエ)氏

花蓮縣議会議員 魏嘉賢氏

花蓮市議会議員 他、多数

—盛岡関係者—

盛岡市長 内舘茂 氏

盛岡市議会議員 遠藤政幸氏

盛岡市議団 10 名

花蓮市長主催による歓迎昼食会は、市内の中華料理店で開催され、円卓を花蓮市議会議員の方々と囲み食事することで、コミュニケーションを図ることが出来た。

○ 花蓮縣表敬訪問及び花蓮縣台湾原住民族文化館視察

はじめに、内舘市長が挨拶。友好都市締結 5 周年を記念と謝辞及び、令和 6 年 4 月の台湾沖地震及び台風被害への見舞いについて述べ、今後盛岡市と花蓮縣との友好がさらに発展するよう、復興支援策として、盛岡山車奉納の運行を行う目的で訪問したことを述べた。

徐榛蔚(シュイジェンウェイ)県長からも、盛岡市訪問団の訪問を熱く歓迎する旨の挨拶があった。

観光を重要産業とする花蓮縣にとっては、今回の震災による被害は大きな打撃であり、今後、日本からのインバウンド観光客への期待のコメントがあった。

また、盛岡市からは、盛岡リンゴ、南部鉄器など、盛岡市を代表する名産品を表敬のお土産として持参した。

花蓮縣のご厚意で、その後、花蓮縣台湾原住民族文化館の視察を行った。

阿美族という台湾で一番人口が多い原住民の話やショーを通じ、伝統芸能がその土地におけるシビックプライドに繋がっているのだと明確に感じました。

—花蓮関係者—

花蓮縣長 徐榛蔚(シュイジェンウェイ)氏

花蓮縣議会議員 魏嘉賢氏 他

—盛岡関係者—

盛岡市長 内舘茂 氏

盛岡市議会議員 遠藤政幸氏

盛岡山車推進会、

盛岡市議団 10 名



○ 花蓮縣議会との意見交換会

《意見交換会参加者》

花蓮縣副議長 徐雪玉

花蓮縣議員 9人

—盛岡関係者—

盛岡市議団 10 名

花蓮縣議の参加は男性6名、女性4名と女性比率が高いのが特徴とのこと。地域別の議員定数を設けていることから、原住民の議員も必ず選出されている。

○花蓮縣主催歓迎レセプション

《夕食会参加者》

—花蓮関係者—

花蓮縣長 徐榛蔚(シュイジェンウェイ)氏

花蓮市長 魏嘉彦(ウェイジャイアエン)氏

花蓮縣會議員 魏嘉賢氏

花蓮市會議員 他、多数

—盛岡関係者—

盛岡市長 内館茂 氏

盛岡市會議長 遠藤政幸氏

盛岡山車推進会、盛岡市消防団、他友好の翼参加者(約 100 名)

盛岡市議団 10 名

今回の花蓮縣花蓮市でのイベント開催にかかり、盛岡山車奉納関係者及び友好の翼参加者も含め、盛岡市派遣団総勢 100 名を花蓮市長はじめ、市民代表や、市會議議員等により歓迎レセプションを開催していただいた。

行政関係者テーブルには、台湾関係者が同席する形であるため、互いに、両国の言葉を尊重しながら、温かいコミュニケーションを図ることができた。

【11 月9日(土)】

○ 記念植樹(花蓮市・盛岡市友好都市記念)

—盛岡関係者—

盛岡市長 内館茂 氏

盛岡市會議長 遠藤政幸氏

盛岡市議団 10 名

〈概要〉

水牛公園モニュメントにて花蓮市市長・市議団、関係各所との共同セレモニーとして植樹を行った。
5周年を記念する「ゴヨウマツ」を盛岡市・花蓮市市長、議長、消防団長らとともに植樹。



○ 花蓮市公所歓迎レセプション(パークビューホテル)

—盛岡関係者—

盛岡市長 内舘茂 氏
盛岡市議会議員 遠藤政幸氏
盛岡市議団 10 名

〈概要〉

盛岡からの団体全員が花蓮市の歓迎を受け、原住民との交流や水牛公園の花蓮盛岡友好都市モニュメント作成者との交流を行った。



○ 盛岡りんごフェア(花蓮遠東百貨店)

—盛岡関係者—

盛岡市長 内舘茂 氏
盛岡市議会議員 遠藤政幸氏
盛岡市議団 10 名

〈概要〉

花蓮市の百貨店にて花蓮市長、盛岡市長が直接手渡しで盛岡りんごのアピールを行うとともに盛岡りんごを直接市民向けに販売。即日完売する大盛況となった。



○ 第5回盛岡山車パレード参加(盛岡観光PR活動)

—盛岡関係者—

盛岡市長 内舘茂 氏
盛岡市議会議員 遠藤政幸氏
盛岡市議団 10 名

〈概要〉

花蓮県主催の大掛かりなお祭りとして地域の団体からパレードが始まり、最後に盛岡団が PR 活動としてパレードを歩いた。大勢の観客の見守る中、山車を引く姿には感嘆の声と熱狂的な歓迎を受けた。



【11 月 10 日(日)】

○ 花蓮光復製糖工場見学

—花蓮関係者—

台湾糖業公司花東区処 副処長 [REDACTED] 氏
花蓮糖廠環境教育中心 主任 [REDACTED] 氏

—盛岡関係者—

盛岡市長 内館茂 氏
盛岡市議会議長 遠藤政幸氏
盛岡市議団 10 名

〈概要〉

花蓮市中心部から車で 1 時間ほど南下した場所にある「花蓮光復観光糖廠」。日本統治時代は「花蓮港精糖所大和工場」があった場所で、畳敷きの日本式社宅を再現した民宿群などが整備され、人気の観光スポットとなっている。ここでは、岩手台湾懇話会が寄贈した「台湾糖業の父」、盛岡市出身の新渡戸稲造(1862-1933 年)の胸像と対面した。同じ鋳型で造られた胸像は、JR 盛岡駅渚の広場前と、盛岡中央中学校・高校の正面玄関脇にも展示されている。新渡戸は時の民生長官・後藤新平に「糖業改良意見書」を提出。サトウキビを台湾固有種に代え、ジャワ種に品種改良を行うなどして、30 年余後、台湾の製糖生産量は 20 倍に達している。あらためて新渡戸稲造とその上司であった後藤新平という 2 人の岩手県人の偉業を知り、感銘を受けるとともに、岩手と台湾の縁を活かし、文化経済交流を継続させる意義を感じた。



【11月11日(月)】

○台湾交通部観光署表敬訪問

＜参加者＞

—観光署関係者—

交通部観光署 主任秘書 方正光 氏

他、観光署職員、通訳等

—盛岡関係—

盛岡市長 内舘茂 氏

盛岡市議会議長 遠藤政幸 氏

盛岡市議団 10名

他、交流推進部職員、通訳等

＜表敬概要＞

1 表敬訪問次第

(1)名刺交換

(2)歓迎挨拶

(3)来賓挨拶

(4)意見交換(時間がなかったため省略)

(5)記念品贈呈

2 台湾政府 方正光 氏挨拶要旨

4月4日花蓮市で発生した震災の際、最も早く御見舞いの言葉をいただき、また、震災復旧の支援をいただき、観光署を代表し心より感謝申し上げます。日本は台湾にとって重要なパートナーであり大切な友人でもある。昨年、盛岡市はニューヨークタイムズに2023年訪れるべき都市52選の中で2番目に選ばれた。盛岡市は外国人観光客の中で、特に台湾からは3万人ほど訪れている。盛岡市は台湾の皆さんにとって最も愛されている観光地のひとつであることがわかる。

盛岡山車は、盛岡市の指定無形民族文化財であり、2002年、2007年、2016年、2019年と4度に亘り花蓮でパレードを開催した。特に2019年11月24日盛岡市と台湾花蓮市が友好都市として締結した。そして、今年は11月9日5回目台湾を訪れ「2024年花蓮がんばれ盛岡山車カーニバル」を開催し、日台観光交流に尽力くださり心より感謝申し上げます。今後、観光・経済・文化・スポーツなど、多方面に亘り交流が広がり、復旧の輪がさらに広がるよう心から願っている。

先日、日本市場に向けて台湾への観光促進のため、妻夫木聡さんのプロモーションビデオを発表した。「ビビビ！台湾！」「したいことぜんぶ！（体験したいことが全部台湾にある！）」をメインテーマとして、「春夏秋冬」「日月潭の風景」「お茶摘み」「エビ釣り」「台湾式朝食」などビデオにして紹介している。映像を通して日本の皆さんに新たな体験と魅力を発見していただき、台湾観光への行動に促すとともに、身近なご家族やご友人にもお勧めいただけたら幸いである。

最後になるが、皆さんの訪問を歓迎し、今回の訪問が実り多いものとなるよう心から願っている。また、日台交流に共に努めるとともに、皆さんの御健勝と御多幸をお祈りする。

3 内舘市長挨拶要旨

本日はお忙しい中、私どもの訪問を快くお受けいただき誠にありがとうございます。

盛岡と花蓮市は友好都市であり、そしてこのたびの地震と台風の被害については、盛岡市民心から心配しており、応援の気持ちも込め、今回は101人で訪問をしている。

台湾からは、毎年多くの観光客の皆さんが岩手県盛岡市に訪れてきていただいている。盛岡市の外国人観光客の約半数は、台湾から来ていただいている。2023年は約30,000人の皆さんにお越しいただいた。これは台湾交通観光署の御支援・御尽力と思っており深く感謝する。

今盛岡市では、多言語対応のデジタルマップ、市内中心部に無料Wi-Fiを整備し、安全安心な街歩きを楽しんでいただけている。今後も、多くの観光客の皆様に訪問いただけるよう、官民一体となって取り組み、お

もてなしの心で皆様をお迎えしていきたいと思っている。

この度、花蓮県からお招きをいただき、「2024 フェアレンジャーヨー盛岡山車カーニバル」に出演をさせていただいた。盛岡の山車と101人の盛岡市民とともに参加をさせていただいた。出演は5回目であり、花蓮市と盛岡市は、盛岡山車をきっかけに20年以上にわたり交流を継続しているところである。

今後においても、台湾そして岩手県盛岡市との交流がさらに促進をされ、活発なものになっていき、信頼と友情がさらに深まることを期待申し上げ御挨拶とする。

4 遠藤議長挨拶要旨

本日はお忙しい中、私どもの訪問を快くお引き受けいただき誠にありがとうございます。私は5年前、令和元年にも盛岡市議会議長として台湾・花蓮市を訪問させていただいたが、台湾の皆様の熱烈な歓迎と友情に大変感激しました。今回、再び盛岡市議会議長として訪問させていただき、皆様にお会いできましたことは、この上ない喜びである。

台湾・花蓮市と盛岡市は長年の交流の歴史を経て、特に観光の分野では、非常に親密な関係を築いてきたところである。本日は、花蓮市と盛岡市が友好都市として提携してから5周年の節目の年であり、大変喜ばしく思っている。2002年の盛岡山車派遣に始まった花蓮市と盛岡の友好が、今後一層緊密となり、未来へ向けて多方面に広がっていくことを期待している。

結びに、台湾・花蓮市と盛岡市との更なる交流の発展と皆様の御健勝御多幸を祈念し、挨拶とさせていただく。

4 その後、記念品の交換



方光進氏挨拶



記念品贈呈



盛岡りんご贈呈

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	R7.2.14
------	-------	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	65,014	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	65,014	円

【支払概要】

1/29～31会派視察に係る交通費及び宿泊費（旅行会社支払い分）

【内訳】

・交通費（飛行機・新幹線・借り上げバス）	39,714円
・宿泊費（2泊）	22,000円
・手数料	3,300円

領収書等添付欄	☐ 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 証

BC-00034729
発行日 2025/02/14

山崎 智樹 様

金額 ¥65,014.-

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

上記金額を正に領収いたしました
但し、1/29～1/31 会派視察旅費として

- ☐ 現金
☐ 小切手
☒ 振込 65,014 円
☐ クレジット
☐ その他 ()
()

名鉄観光サービス株式会社
(本社所在地)
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

責任者印	領収者印

BC-030633

令和6年度 盛友会会派視察行程

【1月28日(火)】

盛岡駅 (13:50) — (はやぶさ24号) — (16:05) 東京駅
東京駅 (16:10) — (丸の内線) — (16:30) 新宿三丁目

伊勢丹視察 (16:40~18:30)

※ 伊勢丹における企業内企業の取り組みについて

○ 伊勢丹別館において、伊勢丹社員からのヒアリング

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-16-10 PC2A棟

新宿三丁目 (19:00) — (地下鉄等) — (19:50) 穴森稲荷
《宿泊》

ホテルJALシティ羽田

〒144-0042 東京都大田区羽田旭町4-11

【1月29日(水)】

宿泊先 (6:30) — (リムジンバス) — (6:50) 羽田空港

(昼食)

羽田空港 (8:05) — (JAL905便) — (10:45) 那覇空港
那覇空港 (11:30) — (レンタカー) — (13:30) 沖縄アリーナ

沖縄アリーナ視察 (13:30~15:30)

○ プロスポーツとまちづくりについて (現地視察)

〒904-0034 沖縄県沖縄市山内1-16-1

電話番号 050-5444-1478

那覇空港 (15:40) — (タクシー) — (17:00) 宿泊先

《宿泊》

春日観光ホテル

〒904-2245 沖縄県うるま市赤道179-1

【1月30日(木)】

宿泊先 (9:10) — (借り上げバス) — (9:25) あまわりパーク

うるま市視察 (9:30~11:30)

※あまわりパーク歴史文化施設会議室で開催

○勝連城跡の保存・活用について (現地視察含む)

〒904-2311 沖縄県うるま市勝連南風原3807-2

電話番号 098-978-2033

あまわりパーク (11:35) — (借り上げバス) — (11:45) 昼食会場

昼食会場 (12:50) — (借り上げバス) — (13:50) 浦添市産業振興センター・結の街

令和6年度 盛友会会派視察行程

浦添市視察(14:00～15:30)

○浦添市における企業の立地、定着の促進、支援の取り組みについて

※浦添市産業振興センター「結の街」の現地視察

〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4丁目13-1

(浦添市産業振興センター「結の街」)

※1名途中退席

浦添市産業振興センター・結の街 (15:35) — (借り上げバス) — (16:00) 宿 泊 先
 <<宿泊>>

ホテルアートステイ那覇国際通り

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1丁目3-43

【1月31日(金)】

宿 泊 先	(8:50)	— (借り上げバス) —	(9:10)	那 覇 空 港
那 覇 空 港	(10:15)	— (JAL902便) —	(12:25)	羽 田 空 港
		(昼食)		
羽田空港第1ターミナル	(12:50)	— (モノレール) —	(13:08)	浜 松 町 駅
浜 松 町 駅	(13:13)	— (京浜東北線) —	(13:17)	東 京 駅
東 京 駅	(14:20)	— (はやぶさ27号) —	(16:33)	盛 岡 駅

視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

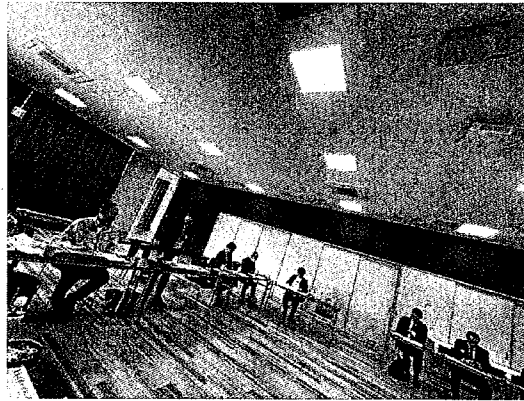
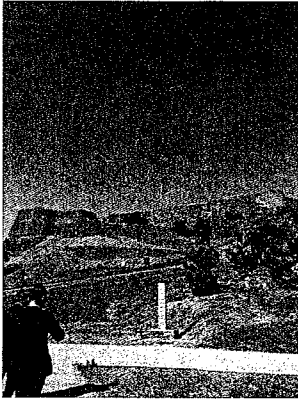
会派名	盛友会
実 施 日	令和7年1月30日（木）
参 加 者	村田芳三、竹田浩久、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、千葉伸行、櫻裕子、工藤健一、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、佐藤明彦、千葉順子、鈴木真吾、野田尚紀、山崎智樹（以上16名）
視察先および 調査項目	沖縄県うるま市 あまわりパーク歴史文化施設、勝連城跡の保存活用について
視察の概要 および所感	【視察の概要】 ① あまわりパーク歴史文化施設見学 ② うるま市観光と文化施設の戦略について ③ 勝連城跡見学 【所感】⇒各自作成 観光と教育を「世界遺産登録」をきっかけとして展開していることが非常に学びになった。 通過型から滞在型への移行に関わる部署ごとで連携しながらも展開、戦略立てしているところは参考になったので、今後の部局関連系や施設の活用についても盛岡市に活用していきたい。
【添付資料】 参加者により共同作成した報告書	

盛友会 会派視察(令和 7 年1月 29 日(水)～31 日(金))

日 時	令和 7 年 1 月 30 日 (木)
場 所	沖縄県うるま市 あまわり記念館・勝連城跡
視察項目	うるま市における勝連城跡の保存・活用について

視察内容	
【主な内容】	●対応者 うるま市議会 比嘉議長 社会教育部文化財課課長 宮城伸一 氏 グスク整備係係長 [REDACTED] 氏 プロジェクト推進 2 課 主幹 久高唯樹 氏 主任技師 [REDACTED] 氏 事務局議会総務課 [REDACTED] 氏 1 うるま市の概要 人口 12 万 5,000 人ほどで南東に伸びる半島部の北東及び東方海上に有人・無人の 10 の島があり、うち 4 つの島は海中道路で結ばれ、その景観は CM や映画のロケに使われる。肉用中などの畜産やサトウキビの栽培が行われ、モズクは県内水揚げの約 4 割を占める。世界遺産に登録された勝連城跡があり、エイサー、獅子舞、闘牛などの伝統文化が残る。 2 勝連城跡の保存・活用について - うるま市概要を感動産業特区リーフレット「うるま trip」をもとに説明。 - 勝連城跡の保存活用について 世界遺産登録後に 5 万→18 万人への集客となっている。 ①歴史戦略 沖縄でお城のことを「グスク」と呼ぶ。900 年前（平安鎌倉時代）に作り始めていた。本土とは違う時代を進めており、沖縄ではグスク時代、という表現もされる。その後琉球王国時代へと続く。 ②保存・整備について 史跡範囲はお城と周辺地域に加え、世界遺産認定に際し緩衝地帯を制定し、周辺の景観維持（色調・高さ 9m まで等）に務め、 「うるま市景観条例」も重なり強い景観維持を実施している。 ③勝連城跡の活用について ウスデーク交流会（女性が踊り歌を歌い地域繁栄を祈るもの）やアマワリのグスク公演を行うなど、イベント等で利用した場合は文化財課を窓口として 実施内容や安全管理、史跡への影響等を事前調整した上で可能としている。ガイドラインについては企画部プロジェクト推進 2 課と調整し作成したものを遵守することとしている。 周辺整備事業について（プロジェクト推進 2 課） - 観光シンボルとして、夜間ライトアップ等施設整備にっ進めている→観光需要拡

【まとめ】	大機会の取り込み・うるま市の通貨型観光→滞在型観光への転換・市民所得の向上・エリア価値の向上 ・PFI 事業含め、「あまわりパーク」として勝連城跡整備事業として、飲食・宿泊・イベントスペース・住民が自由に使えるスペースなどうるま市が誇る世界遺産を軸として歴史。文化。伝統芸能・エンタメ発信拠点へと。 [質疑] ・滞在型へと進める場合は宿泊施設が脆弱なのではないか、それについてどうか？ →この周辺施設だけではなく、まちの一部既存の公共施設を活用して宿泊施設を誘致することを検討している。 ・官民連携における民間事業者は地元の事業者なのか？ →地元、地元+全国、全国の3グループから提案。(全国のグループから採択) 民間提案の自主事業についてもう少し詳しく →建蔽率、高さ制限の中での20室のホテル MICE のI インセンティブにも 探究心ホール→修学旅行にも活用できるもの 駐車場にも活用できるRVパークなど ・観光と市民双方が活用できる場所になっているのか？ →「近隣公園」と位置付けているので地元住民に喜ばれるものでなければならない。 インクルーシブ公園を含めた老若男女楽しめるものに。 ・城の復元について、資料はあるのか → 城の復元においては資料がほぼない状況。 ・インバウンドへのアプローチの今後の見込み、周知における対応は？ →コロナ前の方が海外の観光者が多かった。 今後は県民向けのパスポート発行など取り組んでいく。多言語案内の充実を検討している。台湾事業者とのやりとりもある。 ・課における被った部分における調整はどのようにしているのか →企画をもとにして密に調整・連携に取り組んでいる。 文化庁の監視があるので、自分たちの方が見ている、ということを展開している。 ガイドラインを明確に作成した
--------------	---



視 察 等 概 要 書

議員氏名 山崎 智樹

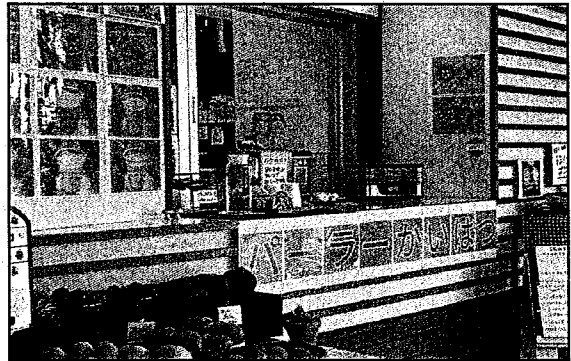
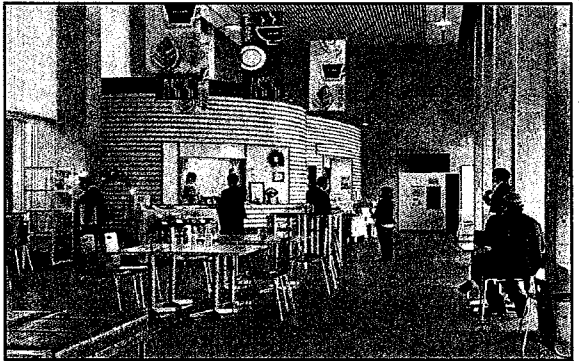
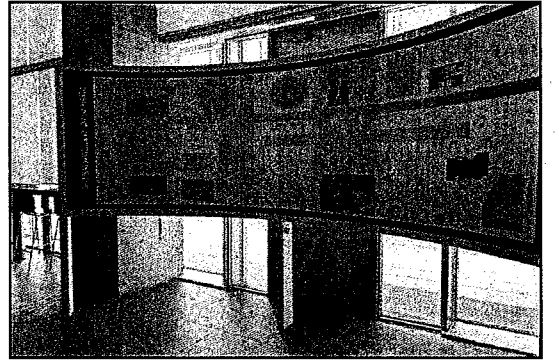
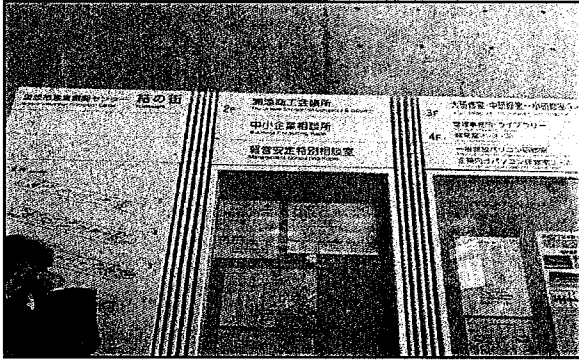
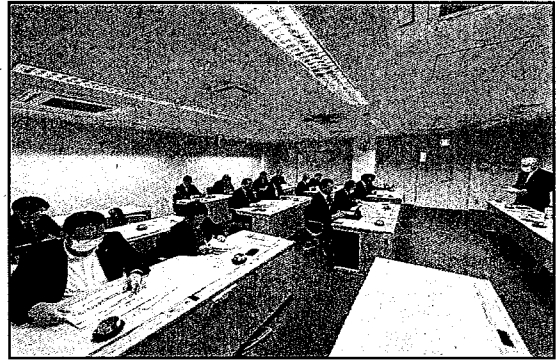
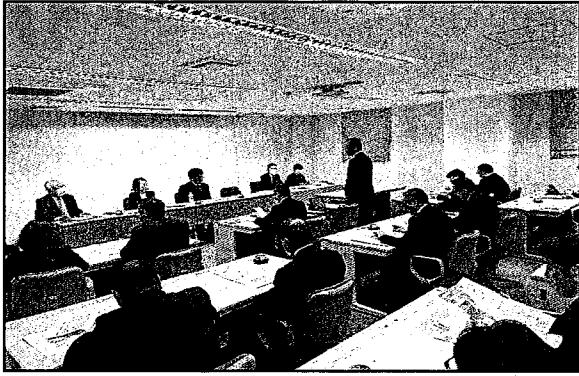
会派名	盛友会
実 施 日	令和7年1月30日（木）
参 加 者	村田芳三、竹田浩久、菊田隆、天沼久純、藤澤由蔵、千葉伸行、櫻裕子、 工藤健一、浅沼克人、田山俊悦、小笠原秀夫、佐藤明彦、千葉順子、鈴木 真吾、山崎智樹、野田尚紀（以上16名）
視察先および 調査項目	沖縄県浦添市 浦添市における企業の立地、定着の促進、支援の取組について
視察の概要 および所感	【視察の概要】 ① 浦添市産業振興補助金【一般財源】（R6 予算額当初300万円＋補正100万円＋ふるさと納税） ② 浦添市産業振興センター・結の街（浦添商工会議所が指定管理） ③ スタートアップURASOE 【所感】⇒各自作成 ① 浦添市からの指定管理を受けた浦添商工会議所が、市の産業振興について、けん引役となっていることが理解できた。 起業家育成、人材育成、相談又は助言指導、施設の貸出等においても、積極的に行われている。 ② 平成27年に開設したスタートアップURASOEのHPは、HPでの発信より、インキュベーションマネージャーの活用が優先度が高いと考え、事業スクラップがされており、盛岡市において、何が必要とされているか、限られた予算を効果的に活用する、選択と集中が求められると感じた。
【添付資料】 参加者により共同作成した報告書	

盛友会 会派視察(令和 7 年1月 29 日(水)～31 日(金))

日 時	令和 7 年 1 月 30 日 (木)
場 所	沖縄県浦添市 浦添市産業振興センター
視察項目	浦添市における企業の立地、定着の促進、支援の取組について

視察内容	
【主な内容】	●対応者 浦添市市民部経済文化局産業振興課 課長 仲里 哲 氏 浦添市市民部経済文化局産業振興課産業振興係 主査 [REDACTED] 氏 浦添商工会議所 専務理事 渡名喜 守聖 氏 浦添商工会議所総務部結の街事業推進課事業推進係 係長 [REDACTED] 氏 1 浦添市の概要 人口 11 万 5,000 人ほどの那覇市のベットタウンとして、現在も人口増加中。市の約 14%を米軍基地が占めており、今後日本に土地変換予定とされているが、実施計画は建てられていない。市の産業は第 3 次産業が中心で、卸商業団地や県内最大級の大型商業施設が所在。東京ヤクルトスワローズのキャンプ地となっているが、市内に球団関係者が宿泊できるホテルや、利用できる飲食施設等が少なく、市への経済効果は上がっていない状況。 2 浦添市における産業振興策について ① 浦添市産業振興補助金（市単独事業）【一般財源】 R6 当初予算 300 万円、補正 100 万円 更にふるさと納税収益を追加予定。 新設又は新設してから 3 年以内の事業者を対象として、予算の範囲で 3 つの補助メニューに係る経費を一部補助 ・施設賃借事業（家賃補助）2 分の 1 以内 月額 10 万円以内 ・空き店舗活用等企業支援事業 2 分の 1 以内 月額 20 万円以内 ・雇用支援事業 一人当たり 2 万円 48 万円以内 ② 特区・地域制度 沖縄振興特別措置法に基づく 6 つの特区・地域制度のうち、4 つを活用。 ・観光地形成促進地域制度、情報通信産業振興地域制度・情報通信産業特別地区、産業イノベーション促進地域制度、国際物流拠点産業集積地域制度 ③ 立地、定着の実績 ・オフィスビル、ホテルと一体型のオフィスビル、大型商業施設等 それらの施設は、企業誘致活動等により、誘致できたものであるが、誘致後も、市と連携した取組（市関連施設の入居や、イベント等の開催）を行っている。 ④ 浦添市産業振興センター・結の街 市が建設し、浦添商工会所が指定管理者。当初は、年 8 千万円の指定管理料

	であったが、現在は、5000 万円の指定管理料となっている。 建物の施設管理に加え、 ア 起業家育成事業、人材育成事業、経営等に関する相談助言事業、施設貸出等を実施している。 イ 新規開業3年間利用できる(創業支援6ブース)を設けるなどをしている。 ⑤ スタートアップ URASOE (令和3年度 HP 閉鎖) 新規創業に関する情報発信事業としてサイトを開設したが、利用頻度が高くなく、新規創業者の課題(事業計画、資金計画、販路開拓)に対する支援を行うことが、創業定着に繋がると考え、インキュベーションマネージャーの設置予算を堅持するために、HP は閉鎖した。 マネージャーへの相談件数＝ 1,000 件/年。 相談業態は、飲食業 20%、美容 15%程度。 課題として、安易に開業し、閉業率が高い。 【まとめ】 ① 産業振興にかかる課題認識がなされ、事業の選択と集中がなされていると感じた。 (新規創業者の課題に対応した相談体制を充実させることが肝要と考え、HP は閉鎖するなど) ② 時代のニーズにあった各種セミナーが開催され、利用者も多く(令和6年度4回 約50名受講)、市と商工会議所の連携が図られていると感じた。 研修内容(新任管理職研修、Canva プレゼン講座、クレーム対応セミナー) ③ 創業支援についても、商工会議所と連携し、ワンストップで相談に応じられる環境が整備されている。 ④ 各種イベント開催により、産業振興センター(結の街)が、事業所のみならず市民に認知されており、産業振興の中核施設として、役割を果たしていると感じた。 ⑤ 盛岡市においても、商工会議所等の関係機関と連携した、事業者ニーズにあったセミナー等の開催や、新規創業者へのフォロー体制の充実について、今後も検討することができると感じた。
--	---



様式第 6 号

政務活動費支出簿

使途項目	研修費 ✓
------	-------

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
R6. 7. 4 ✓	7,000 ✓ 円	市政調査会拠出金 ✓	
R6. 7. 29 ✓	7,000 ✓ 円	市政調査会拠出金 ✓	
R6. 10. 1 ✓	9,000 ✓ 円	第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡参加費 ✓	
R7. 1. 16 ✓	7,000 ✓ 円	市政調査会拠出金	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	30,000 ✓ 円		

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費 /	支出日	R6. 7. 4
------	-------	-----	----------

支出証拠書類の額面金額	7,000	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	7,000	円

【支払概要】

市政調査会拠出金 /

領収書等添付欄

☐ 別紙に添付

領 収 書

山 崎 智 樹 様

一金 7,000円 也

令和6年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。

令和6年7月4日

盛岡市市政調査会 会長 竹 田 浩 久



政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	R6.7.29
------	-----	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	7,000	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	7,000	円

【支払概要】

市政調査会拠出金

領収書等添付欄

☐ 別紙に添付

領 収 書

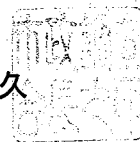
山崎智樹様

一金 7,000円 也

令和6年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。

令和6年7月29日

盛岡市市政調査会 会長 竹田 浩久



様式第 7 号

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費 ✓	支出日	R6. 10. 1 ✓
------	-------	-----	-------------

支出証拠書類の額面金額	9,000 ✓	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	9,000 ✓	円
【支払概要】 第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡参加費 ✓		

領収書等添付欄	☒ 別紙に添付
---------	---

の
り
し
ろ

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年10月1日

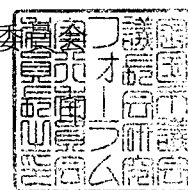
山崎 智樹 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催（盛岡市）

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	R7.1.16
------	-----	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	7,000	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	7,000	円
【支払概要】 市政調査会拠出金		

領収書等添付欄	☐ 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 書
山崎 智樹 様
一金 7,000円 也
令和6年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。
令和7年1月16日
盛岡市市政調査会 会長 竹田 浩
市政調査会 会長 印

様式第 6 号

政務活動費支出簿

使途項目	広報費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
R6. 4. 12	98,278 円	市政報告書デザイン印刷費	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	98,278 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	R6. 4. 12
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	120,000	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	98,278	円
【支払概要】 市政報告書デザイン印刷費		

領収書等添付欄	☐ 別紙に添付
---------	--------------------------------

の
り
し
ろ

領 収 証

No. _____

山崎 ともき 様

金額

¥ 40,000 -

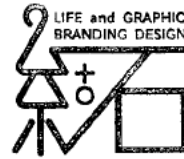
但 ティザイン、印刷代として

2024 年 4 月 12 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)



イトとイシ
高橋直美

領 収 証

No. _____

山崎 ともき 様

金額

¥ 40,000 -

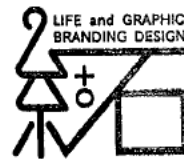
但 ティザイン、印刷代として

2024 年 4 月 12 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)



イトとイシ
高橋直美

領 収 証

No. _____

山崎 ともき 様

金額

¥ 40,000 -

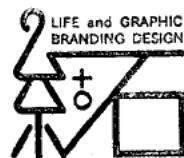
但 ティザイン、印刷代として

2024 年 4 月 12 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)



イトとイシ
高橋直美

請求書

2024/4/12 ✓

山崎 ともき さま

イトとイシ 高橋直美

〈お振込先〉

(価格は全て税込み)

[illegible]

備考

山崎ともき市政報告デザイン印刷として

山崎ともき

共にモリオカを育てる通信

みんなで
モリオカを全世代でワクワクするまちに

市政レポート Vol.01

2024年10月吉日

いつも 皆さまから あたにかい ご声援をいただき、ありがとうございます。 山崎 智樹（やまざき ともし）です。

昨年の8月、盛岡市議会議員選挙において初当選させていただきました。1年が経ちました。私は子育て世代、子どもたち、市民の方々に 政治を身近に感じてもらうため、自分自身の学んだ経験したことを伝えるため、決意しこの世界に飛び込みました。これからもしっかりと地域課題に学生たちと取り組む実践は続けながらも、子どもたちが主語になることを挑戦し続けてまいります。皆さまと共に、より良い未来を築いていくために 全力を尽くしてまいりますので、何年よろしくお願ひいたします。これからの議員活動は、このような形で報告してまいります。

今日は 12月、3月 定例会での一般質問、視察についてを中心に掲載させていただきます。

全世代がワクワクするまちに
山崎 ともし

共に
モリオカを
育てる

山崎ともきが全世代と挑戦

1. モリオカの「まなび」を共に

じっせき

- ☒ パイセンcafe
- ☒ 盛岡台湾HAPPY PROJECT

2. モリオカの「せいじ」を共に

じっせき

- ☒ FAB選挙
- ☒ SIMulationMorioka2040

3. モリオカの「まちづくり」を共に

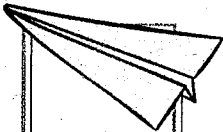
じっせき

- ☒ 高校生×まちなか百貨店
- ☒ 注文をまちがえるカフェ

4. モリオカの「ちょうせん」を共に

じっせき

- ☒ ソエルプロジェクト
- ☒ 光る絵本展in三陸鉄道



12月一般質問

総合計画における

市民参画指標について

- (1) 市民参画における指標として、投票率の低さへの取り組みの一つとしても世代ごとの指標を設定していくことが必要なのではないか
- (2) 総合計画に投票率を市民参画指標として入れるのはどうか

学校現場における

DXについて

- (1) 盛岡市における統合型事務支援システム導入について

教員の長時間勤務解消、教育の質向上を図るための解決案として47都道府県中岩手県内公立学校の導入47位の現状だからこそ盛岡市が率先して導入や展開を目指すべきではないか

早速導入が決定し、
予算化されました！

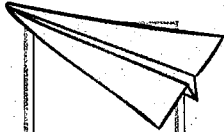


- (2) 生徒用端末の今後の利用について

ランドセル軽減のためにもデジタル教科書導入するなどし、生徒用端末を活用、デジタル図書館などの導入についての検討状況は？

地域人材育成について

- (1) シティプロモーション出前講座も含めた中学生対象の体制について
- (2) 認知症支援体制の強化拡充について



3月一般質問

市民参画の促進について

- (1) 総合計画の市民浸透について
- 策定するだけでなく双方向での取り組みにも力を入れていくべきなのでは？

盛岡の将来のまちづくりを 担う人材育成について

- (1) 第二期推進計画最終年である先人教育について

先人における資料等を生徒用端末に共有できるようにし日常に触れる機会を増

やっといくべきでは？

(2) 子ども未来基金について

大人に向けたものだけではなく、高知市子どもファンドを参考に子どもが主体となる制度の導入を。

↓実現に向けて一緒に取り組んでいきましょつという前向きな回答

2025年度導入決定！

(3) 部活動の地域行について

現在の進捗状況と現在の課題を。また、先日アメリカNBAに呼ばれたリップ・スタンス・スクールの例、人材育成として取り組んでいるうるま市のような伝統芸能といった、ダンス部や伝統芸能部など、本市に合った地域意向のあり方を進めていくのはどうか。

地域人材育成について

(1) 医療的ケア児の就園における課題と原稿のガイドライン見直しの必要性について

(2) 重度障害者の就労支援について

「雇用施策と連携による重度障害者等就労支援特別事業」の導入についての検討状況

実績

視察について

この一年で、14箇所の視察をおこないました。

私には、「短い時間での視察を、市政にどこまで活用できるのか？」という思いが元々ありました。そこで、事前学習をおこなうなど、視察を最大限に活用できるよう工夫いたしました。その結果、今回の一般質問や提案のほぼ全てにおいて、視察の成果を盛岡市の政策に繋げることができました。

この一年、私自身から視察先をどんどん提案し、企画も立ててまいりました。どのような目的を持って視察に行くのかを、議会事務局や会派、各種委員会に伝えることにより推進できた実感がありました。

視察は、他市事例や民間団体等の実践を事前にしっかり学び、実際に現地に行き現場を見ること、また、そこにいらっしゃる方と直接話すことで、盛岡市と比較したり、活用できることに思考を繋げられたりするので、本当に貴重な機会となっています。今後も引き続き、盛岡市と子どもたちのために取り組んでまいります。



視察先とテーマ (2023~2024)

【個人・会派視察】

- 筑波市 小中学校の学校現場における探究とこれから求められる学力、それに対する実践事例
- 北九州市 起業家育成、スタートアップ支援施設 子育て支援施設
- 福岡市 廃校利用イノベーション施設
- 石垣島 かけはし交流について
- うるま市 伝統文化と人材育成について
- 宮城県庁／宮城県仙台市 総合計画と財政について
- 京都大学 ヘルステック産業と盛岡の繋がり
- 姫路市 ウォーカブルなまちづくり計画
- 神戸市 神戸タータン 地域ブランド戦略
- 神戸市 防災センター
- 伊丹市 窓口DX

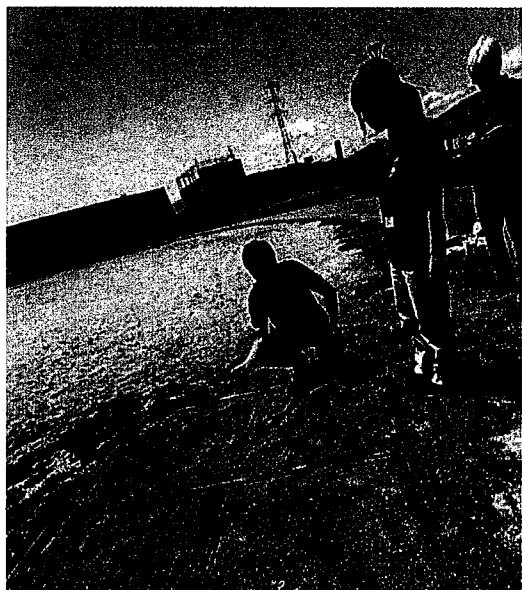
【教育福祉常任委員会視察】

- 高知県高知市 こどもファンド・土佐っこタウン
- 大阪府寝屋川市 いじめ対策
- 滋賀県草津市 不登校支援
- 宮城県仙台市 ひきこもり支援センター概要
- 札幌市 資生小学校 都心部子ども関連複合施設
- 札幌市 子どもの権利条例について

【環境保全特別委員会】

- 埼玉県所沢市 マチごとエコタウン構想
- 静岡県浜松市 脱炭素 新エネルギー推進事業本部
- 愛知県豊田市 とよたエコフルタウン
- 岩手県宮古市 シュタットベルケ

キラキラ



もりおかの「まちづくり」を共に

公園の1箇所を使用しているため、近隣の方にはご迷惑をおかけしますが、引き続き経過を見守り、対策を行ってまいります。ご理解のほど何卒よろしくお願いいたします。

盛岡市向中野にある盛岡南地区公園では、グラウンド部分への雑草の侵食があり様々な活動において問題となっていました。
6月27日、市民の声をいただき、盛岡市役所公園みどり課の方に相談し、直接見ていただくことになりました。
グラウンド部分を埋めるように急速に雑草が生えてきている状況でした。市では、雑草の処理にすぐ対処するのは難しいものの、まずは薬品を使って効果を実験し、打てる手を考えていくことになりました。

略歴

- 1980年1月19日 岩手県盛岡市馬場町生まれ釜石市育ち。
- 現在:向中野在住、本宮で事業開始、北飯岡にて法人化。
向中野小学校PTA 副会長[長男(中1)長女(小4)の子育て世代]
- SoRaStars株式会社 代表取締役
- 個別指導・集団授業SoRa 代表、SoRacafe オーナー
- ドリーム・シード・プロジェクト代表
2023年5月 代表取締役退任

地域プロジェクト

- 「盛岡台湾HAPPY PROJECT」実行委員長
- 「YOSAKOIさんさプロジェクト」全体統括
- 盛岡BASESTAION「学びの場」デザイン部
- 「パイセンcafe」カフェマスター
- 2023年4月には高校生と盛岡市長の対談も実現。
他、学生と地域の各種伴走に挑戦中!

共に育てて
いきましょーっ!



山崎 ともき【山崎智樹】

教育福祉常任委員会／環境保全対策特別委員会(副委員長)
社会教育委員／赤い羽根共同募金委員

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1丁目2-10
〒020-0851 岩手県盛岡市向中野5-16-42
TEL 019-601-7121 携帯 090-8783-6559
Mail sora.kamihikoki@gmail.com
Web <https://tomoki-y.info>



学生とつくるSNS

